

学術企画

JART 医療安全対策委員会, JSRT 医療安全委員会 『業務拡大の現状及び教育機関を含めた今後の展開』

司会 久留米大学病院 川田 秀道
司会 聖隷袋井市民病院 山本 英雄

11月1日(金)
10:00~11:50
第3会場

今回JART・JSRT初めての医療安全合同企画では、2021年7月より始めました告示研修を受講後、臨床現場で業務拡大を行うにあたり予想されるインシデントについて考え、これらを教育機関の告示研修教育へフィードバックして議論します。

本企画では、厚生労働省医政局医事課医事専門官から業務拡大に関する概要的な内容、JARTから理事の先生による告示研修の受講状況、JSRTから教育機関の先生による学生への告示研修教育の現状、そして、臨床で活躍中の2名の先生方からCT、MRIにおける静脈路確保の取り組み、IVRに関するタスクシフトシェアの内容をご講演いただく予定です。

今後の業務拡大における医療安全を向上させるための第1歩として、臨床の現場と教育機関との相互連携及びタスクシフトシェアされた業務の安全対策について合同企画の中で深く掘り下げていきたいと思ひます。多くの皆様のご参加と活発な意見交換・討論を期待します。

司 会



川田 秀道



山本 英雄

講 師



柳田 聡

講 師



菊地 克彦



前島 偉



西尾 直美



大友 厚志

JART 災害対策委員会・災害支援認定診療放射線技師分科会 『放射線災害対応

～避難退域時検査と甲状腺モニタリング～』

11月1日(金)
14:10~15:00
第3会場

司会 兵庫県災害医療センター 中田 正明
司会 岡波総合病院 界外 忠之

①島根県で開催されている避難退域時検査の実際

島根県立中央病院 医療技術局 放射線技術科 矢田 俊介
島根県診療放射線技師会の特色の一つとして、原子力発電所の事故に備え、2013年に島根県、日本診療放射線技師会、島根県診療放射線技師会との3者による包括的相互協定を全国の自治体で初めて締結しました。

本講演では、県が毎年実施している島根県原子力防災訓練の避難退域時検査の実際について、当会がどのように関わっているかを交えながら報告します。

②甲状腺被ばく線量モニタリング検査について

福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線科学科 大葉 隆
「甲状腺被ばく線量モニタリング実施マニュアル」や「甲状腺被ばく線量モニタリング簡易測定運用の手引き」が内閣府・原子力規制庁から公表され甲状腺線量の直接測定を実施できるよう示されています。本講演は、①官庁から公表されている資料についての解説。②人材育成の現在の状況説明。③甲状腺被ばく線量モニタリングの問題点、の流れで構成されます。これによって、甲状腺被ばく線量モニタリングの全体像を知ることができ、将来の原子力災害への備えになることを期待します。

講 師



矢田 俊介



大葉 隆

『迅速・丁寧・確実』



医療機器・特殊材料 エム・ケイ物産株式会社

〒901-1115 沖縄県島尻郡南風原町字山川470番地
TEL (098)888-5115(代)
FAX (098)888-5110